

わかりあえる 認め合える  
わたしたちが創る男女平等社会



第2期  
「女性のための防災リーダー養成講座」  
(5月27日～7月22日)

**2014. 8 Vol. 23**

## 目 次

- ☆第2期「女性のための防災リーダー養成講座」終了！！
- ☆活動中！！女性防災ネット
- ☆登米市「女性のための防災リーダー養成講座」開催
- ☆陸前高田「女性のための防災リーダー養成講座」開催
- ☆「女性と防災せんだいフォーラム2014」開催に向けて
- ☆「藤枝滯子基金」助成事業終了

## 第2期「女性のための防災リーダー養成講座」終了！！

5月27日～7月22日

主催 特定非営利活動法人イコールネット仙台  
共催 せんだい女性防災リーダーネットワーク

昨年度の養成講座に続き、今年度も第2期の養成講座を開講しました。今年度は、養成講座がさらに成果をあげることが期待して、仙台市内だけでなく、市外からも若干名の参加者を受け入れることとしました。

結果、受講生は 仙台市内 28 名、仙台市外 9 名の参加があり、37 名 でのスタートとなりました。

さらに、講座の運営を1期生が担当してくれたことで、講座の主役は受講生という意識が生まれ、毎回の熱心な参加につながりました。

会場：エル・ソーラ仙台

	開催日時	内容 / 講師
①	5月27日(火) 13:30～16:00	防災・復興と男女共同参画 浅野富美枝 (宮城学院女子大学 教授)
②	6月10日(火) 13:30～16:00	仙台市地域防災計画を知ろう 仙台市危機管理局・仙台市健康福祉局
③	6月24日(火) 13:30～16:00	震災で何が起きているか DVと児童虐待 八幡悦子 (特定非営利活動法人ハーティ仙台 代表理事)
④	7月1日(火) 13:30～16:00	大震災からみる障がい者の生活とその支援 鴻野みち子 (障害者相談支援員/「女性のための防災リーダー養成講座」(1期生))
⑤	7月22日(火) 13:30～16:00	「災害時、こんな時の対応は？」ワークショップ 浅野幸子 (減災と男女共同参画研修推進センター共同代表 早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員)

### 5月27日(火) 防災・復興と男女共同参画

3.11から3年が経過し、後退し・固定化する性別役割分業が顕著に表れた。男女共同参画社会は災害・復興時にも実現されるべきで、男女共同参画なしに真の防災・復興はない。実効性のある防災・復興力とは女性の視点、男女共同参画の視点を持つこと、多様な力をまとめ、コーディネートする力(新しいリーダー力)、地域内外にたくさんのネットワークをつくる、日常こそが力を磨く場等、示唆に富んだ講演となった。

#### <受講生の声>

- \*「女性の視点」が幅広いということを教えていただきました。
- \*「女性の視点」を生かすためのベース作りがなかなか進んでいません。自分ができることを少しずつ見つけていきます
- \*女性の視点とは、普遍的視点、大事にしたいと思います。
- \*当たり前のことを当たり前に、多様な文化や生活を共存共生するために何をすべきか。地域の防災・減災に女性の視点を生かしていくこと



## 6月24日(火) 震災で何が起きているか DVと児童虐待

被災地支援で、各地の避難所を訪問し、女性への人権侵害につながるような場面に多く直面した。震災後は、女性への暴力事件は増加傾向にあり、様々な問題と連動して深刻化している。

震災後の新しい活動として、暴力サバイバーの集いの場の開催、被災女性のグリーフケアと社会への発信のための「写真と語り合いの場」フォトボイスの開催他、宮城県の委託で、DV 被害者等の支援者養成を県内各地で行っている。暴力を受けている女性たちへの支援として、相談窓口や専門家につながる事が重要。支援活動の実践に基づいた講義が受講生の問題意識につながったものと思う。

### <受講生の声>

- \*被害を拡大させないための取組の大切さ、鋭い視点を持つための研修の大切さについて学びました。
- \*声に出しにくい震災でのDV・児童虐待。女性が防災リーダーとして入る必要をととも感じました。
- \*DV被害者への情報提供、早期支援の必要性を確認・再認識させられました。
- \*震災後、さらに増えたDV、虐待。話すこと、逃げること、プロとともに戦うことの大切さを感じました。「知らない」ことがいかに理不尽なことにつながっていくのか。



## 7月1日(火) 大震災からみる障がい者の生活とその支援

震災後、障害者支援に取り組んだ経験から、障害者の日常や環境、社会制度等にも触れ、災害時に抱える困難を、当事者だけでなく支援者の立場からも具体的に話されました。DVD「命のことづけ」の上映を通し、震災時に、障害者がどのような現実と直面したのか。障害は多様だが、共通する障害者支援のあり方、日常のコミュニケーションの重要性も指摘された。

- \*避難所の支援にも関わりましたが、障害を持つ方へのもっと深い配慮が必要だったと反省しました。
- \*地域の体の不自由な方は把握していますが、精神的な障害の方はわかりにくいので、把握していません。人間的なおつきあいを心がけ、地域で助け合って過ごしていけるようにしたい
- \*障害者(児)への支援の難しさを学びました。地域での今後の活動について参考にしたい
- \*障害者のことを知っているつもりでしたが、改めてVTRを見て、障害者の困難を知りました。



## 7月22日(火) 「災害時、こんな時の対応は..」ワークショップ

昨年と同じ、避難所ワークショップの実践で、架空の学校施設の間取り図上に、指示に従って、話し合いながら、その結果を記入していく方法で、災害発生直後から時間の経過とともに状況は変化していきます。避難者数の増大、支援の必要な人たちへの対応、設備面ではトイレへの対応等々、速やかにどう対応するかが問われます。役割が性別で偏ってしまう、痴漢やセクハラが発生する等、次々と判断が迫られる状況の中、受講生の積極的な参加が実践力を身につける講座となったものと思う。

- \*混乱の中、実際にどれだけのことができるかは、リーダー次第と改めて考えさせられました。
- \*女性の視点の他に、子どもの視点も取り入れると良いと思いました。ますますエネルギーが出そうです。
- \*実際にいろいろな問題が生じ、解決方法は変わるかもしれないが、シミュレーションを考えておくと早い解決につながると痛感した。当事者の視点で考える大切さを学んだ。



## 活動中！！女性防災ネット

女性のための防災リーダー養成講座の受講生(1期生)が中心となって立ち上げた「せんだい女性防災リーダーネットワーク」は、さらに2期生を加え、61名となりました。それぞれの地域で、積極的に防災活動をスタートさせています。養成講座のねらいは、地域でリーダーとして防災活動に取り組む女性たちの育成です。早速取り組みを始めている受講生たちをご紹介します。

### <宮城野区岩切地区>

避難所運営マニュアル策定委員会の委員として積極的に女性の視点の必要性を発言

### <wakka(わか)～ 地域夢つなぐ実行委員会>

地域の子どもたちに向けて防災ゲームを考案。市民センターの協力を得て、区内各所で精力的に活動

### <太白区長町>

近隣の3町内に呼びかけ、事務局を担当し、防災講演会を実現。各区のネットワークメンバーが応援

### <泉区寺岡>

女性防災ネットのメンバーを講師に各種防災講座開催

★子育て中の母親、地域住民を対象に講座を実施、  
「災害時の障害者支援」について防災講座実施予定

### <交流会>

**養成講座の合間に1期生と2期生の合同交流会を実施**

7月15日(火)13:30～16:00 エル・ソーラ仙台大研修室

各区毎にテーブルを囲み、自己紹介を兼ねた交流会。和気あいあいと情報交換や意見交換を行った。最後は、仙台七夕にちなんで、「私の防災宣言」を短冊に書いて発表。それぞれの熱い思いは、防災活動への覚悟を感じさせるものでした。



他市町村でも養成講座が始まります！

## 登米市「女性のための防災リーダー養成講座」開催 自分力UP OH!TOME(おとめ)カフェ ～災害対策編～ <託児つき>

共催 登米市・特定非営利活動法人イコールネット仙台

女性のための防災リーダー養成講座をさらに仙台市以外にも広げていきたいと考えていたところ、登米市で開催を受け入れてくれることになりました。登米市は隣接の南三陸町の被災者を受け入れ、積極的に支援に取り組んだ自治体です。男女共同参画の実現に力を入れている地域でもあり、講座の実現に前向きに協力をしていただきました。

講座内容は以下の通りです。

時間 13:30～16:00 会場 登米市消防防災センター 定員 30名

日 時	内容/講師
9月17日(水)	【講義】 女性の声をみんなへ～いろんな場面で気づいた問題点 講師:浅野富美枝(宮城学院女子大学 教授)
10月2日(木)	【講義・実践】『知っておこう!備えておこう! 家の近くの避難所・危険な場所』 講師:登米市総務部防災課職員 登米市消防本部予防課職員
10月16日(木)	【講義】『ハンディキャップを持つ人への支援～私にもできること～』 講師:障害者相談支援員 鴻野みち子
10月30日(木)	【講義・ワークショップ】『こころのほっとケア～みんな笑顔に～』 講師:ケア宮城 代表 畑山みさ子
11月7日(金)	【ワークショップ】 『“こんな時、どうしたらいい? みんなで話し合い、問題解決!!』 講師:せんだい女性防災リーダーネットワーク

申込先:登米市役所 市民活動支援課 TEL0220-22-2173 FAX0220-22-91

.....

## 陸前高田「女性のための防災リーダー養成講座」開催

主催 特定非営利活動法人まゐむたかた  
協力 特定非営利活動法人イコールネット仙台  
7月～10月 連続講座  
7月30日スタート!

- ★男女共同参画の視点で防災を考える ★救命法講習を受けよう
- ★防災本部を見学しよう ★私たちの防災意識ワークショップ
- ★避難所で何が起きたか 相談窓口の確保
- ★私たちの防災マップ ★町を歩いて感じよう
- ★市に提言する ★防災・減災の学びを街づくりに反映させる
- ★防災・減災の学びを街づくりに反映させる

「女性と防災せんだいフォーラム2014」開催に向けて

日 時 11月21日(金)～24日(月・祝) 会 場 エル・パーク仙台

今年度は、これまでの「参画フォーラム」が、「女性と防災せんだいフォーラム 2014」として、2015年3月、仙台市で開催される「国連防災世界会議」に向けてプレ企画に位置づけられました。国連防災世界会議では、エル・パーク仙台が「女性と防災」のテーマ館となることが決定されており、被災地「仙台」から防災・復興に男女共同参画の視点が重要であることが発信されます。

今回のフォーラムは、参加形態が変わりました。参加の 카테고리として、「テーマ企画」「交流」「食」「語り合い」「体験」等があり、イコールネット仙台は、テーマ企画の「防災・復興と女性のリーダーシップ」、語り合いの「若者の震災と復興」を選択しました。語り合いについては、「若者のための市民活動体験」を充てる予定です。

### 「ポスト兵庫行動枠組み」にさらなる男女共同参画の視点を

国連防災世界会議は、1994年横浜、2005年神戸で開催され、日本では、仙台の会議で、3回目になります。神戸では「兵庫行動枠組み」が宣言され、各国がすすめていくべき防災・減災の枠組みが示されました。今回はその枠組みの改訂が行われる予定です。

兵庫行動枠組みでは、「すべての防災教育、計画策定、意思決定過程に女性が参画する」「女性にも開放された防災に関する訓練や教育、情報伝達システムを構築する」等の内容が盛り込まれました。今回は、東日本大震災の教訓をふまえて、さらに男女共同参画の視点を強化していく必要があります。

被災地仙台から、私たちの経験がしっかりと活かされた「ポスト兵庫行動枠組み」が発信されるよう注視していきましょう。

### 「藤枝澪子基金」助成事業終了

#### 応募総数 49 団体(個人)中 20 団体(個人)に助成が決定されました。

3月1日～4月30日に、募集を開始した「東日本大震災からの復興支援にかかるジェンダー平等をめざす藤枝澪子基金」に関する助成事業について、選考委員会を経て、採用団体・個人が決定しました。

東北6県に活動拠点をもち、被災地3県に対してジェンダー平等の視点で復興支援に取り組む団体・個人を対象に行われた助成事業。イコールネット仙台が事務局を担当し、すすめてきました。

選考の結果、応募団体 49 団体(個人)のうち、20 団体(個人)が助成団体に決定しました。助成対象となった団体(個人)は、みこしのホームページに公表されています。

#### <事務局を担当して>

応募書類に目を通しながら、申請書に込めた熱い思いが伝わってきます。被災地に根をおろし、復興に向けて真に必要な支援は何か、3年が経過した今だからこそ見えてくる支援の形、また、被災者自身が、力をつけて復興の主体になっていこうとする意気込みも感じられました。すべての応募団体(個人)一つ一つの取り組みに、その背景があり、応募理由があります。しかし、助成が可能となった団体(個人)は20件。残念な結果となった団体(個人)の分まで、藤枝さんの志をしっかりと受け止め、復興に向け取り組んでくれることでしょう。期待をし、心からのエールを送りたいと思います。

発行 特定非営利活動法人イコールネット仙台  
発行日 2014年8月  
連絡先 TEL・FAX 022-234-3066